

〔連携研究会報告〕

クアラルンプール地区研究会報告

塩崎（久志本）裕子（東京外国語大学大学院）

クアラルンプールでは1～2か月に一度、主に土曜日の夕方に研究会を行っています。JAMSの会員を中心としていますが、研究者や学生のみならず、クアラルンプールで働いている方々なども共にマレーシアについて学ぶ場として企画しています。場所は国際交流基金クアラルンプール日本文化センターの教室を使用させていただいています。最近の活動は以下の通りです。

2006年11月18日（土）

発表者：相原啓人（在マレーシア日本大使館専門調査員（当時））

「マハティールとアブドゥラの確執～アブドゥラ政権への影響と今後の見通し～」

2007年1月13日（土）

発表者：左右田直規（東京外国語大学）

「『マレー世界』を求めて——英領マラヤにおける植民地的知の現地化とマレー民族意識の形成」

2007年3月10日（土）

発表者：見市建（在シンガポール日本大使館専門調査員（当時））

「比較のなかのジャマア・イスラミヤ」

2007年5月26日（土）

発表者：國分圭介（社団法人国際経済労働研究所・駐在員事務所）

「日系企業ワークモチベーション調査（ドリアンプロジェクト）最新結果報告：働くマレーシア人と働かないマレーシア人の違い」

2007年7月7日（土）

発表者：伊賀司（神戸大学大学院）

「マレーシアの政治体制とオルターナティブ・メディア—『不自由な民主主義体制』における反体制派とメディア—」

●クアラルンプールに短期訪問される会員各位のご参加、ご発表を歓迎いたします。
お問い合わせ先：塩崎裕子